

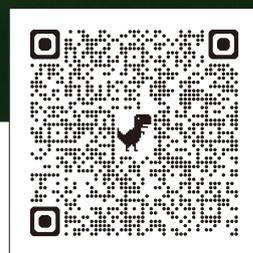
SECURITY CAMP 2025 MINI in KAGAWA “Public Lectures”

参加費
無料

セキュリティ・キャンプ。2025 ミニ 香川開催 【公開講座】

2025年9月29日(月) 13:00~17:00

@香川大学 イノベーションデザイン研究所1階 多目的スペース



お申し込み方法

次のアドレスまたはQRコードよりお申し込みください
<https://forms.cloud.microsoft/r/SmU5tLSPJB>

お問い合わせ先●香川大学サイバーセキュリティセンター

TEL:087-832-1292 MAIL:sec_minic_kgw-h@kagawa-u.ac.jp

主催●香川大学 情報化推進統合拠点 サイバーセキュリティセンター／一般社団法人 セキュリティ・キャンプ協議会

後援●香川県警察／教育システム情報学会 四国支部／独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)

情報処理学会 四国支部／四国サイバーセキュリティネットワーク

協賛●アライドテレシス株式会社

PROGRAM 9/29(月) 公開講座

12:30 受付開始

13:00 開会挨拶

後藤田 中 (香川大学サイバーセキュリティセンター センター長)

13:05 講演①『サイバー空間における脅威の情勢とその対策』

濱田 直樹 (香川県警察本部サイバー対策課警部補)

サイバー空間が従来にも増して社会経済活動を行う重要な公共空間となる一方で、全国的にランサム攻撃や情報窃取を気とした不正アクセス事案が後を絶たず、県内でも、インターネットバンキングからの不正送金やSNSを利用した投資・ロマンス詐欺で甚大な被害が発生するなど、サイバー空間をめぐる脅威は極めて深刻な状況にあります。こうした最新の脅威情勢やその対策について学び、皆さんの周りから被害者が出ないようにサイバー防犯意識を高めましょう!

13:35 講演②『地域とつながるサイバーセキュリティ — 香川大学SETOKUの取り組み』

香川大学サイバー防犯ボランティア「SETOKU」

SETOKU(Security Team Of Kagawa University)は、香川大学の学生によるサイバー防犯ボランティア組織です。若者ならではの視点を活かしつつ、「安心安全な地域社会」の実現を目指した多様な活動を地域と連携して展開しています。香川県警察様、JC3様、トレンドマイクロ様などの様々な団体と協力して、活動しています。またフィッシングサイトの監視ツールをSETOKUメンバーが開発し、効率的なフィッシングサイトの通報・監視を実現しています。本発表では、SETOKUが開発した教材を活用した小学生に対する教育活動、フィッシング詐欺被害防止のための浄化活動、SNSやイベントでの広報啓発活動などのSETOKUの取り組み事例を紹介します。

13:55 休憩

14:05 講演③『フィッシング対策に係る産学官の共同研究について』

松ヶ谷 新吾

(トレンドマイクロ株式会社サイバーセキュリティイノベーション研究所スレット・インテリジェンス・センターシニアスレットリサーチャー 兼 香川大学 創造工学部 橋本研究室 協力研究員)

本講演では、トレンドマイクロのJC3における産学官連携の取り組みを通じたフィッシング分析とその対策について詳しく解説します。まず、フィッシング攻撃の現状とその脅威を背景に、産学官が協力して行ったフィッシング分析の具体的な成果を紹介します。次に、これらの分析結果がアカデミアにどのように貢献しているのか、特に研究の観点からの影響について考察します。最後に、フィッシング分析と対策の今後の展望について議論し、今後の研究や実践における方向性について提言を行います。この講演を通じて、産学官連携の重要性とその実践がもたらす知見を共有し、フィッシング対策の強化に向けた一助となることを目指します。

15:05 休憩

15:15 講演④『世界最前線のサイバーセキュリティ:Black Hat & DEF CON 2025参加報告』

三宅 宏季 (株式会社STNet セキュリティサービス部)

2025年8月にラスベガスで開催されたBlack Hat USAとDEF CON 33に参加し、最新の攻撃手法、脅威インテリジェンス、セキュリティトレンドを体感しました。本講演では、現地で得た知見や注目のセッション、業界の動向についてご紹介します。

15:30 講演⑤『国際女性CTF「Kunoichi Cyber Game」参加レポート』

佐藤 鈴佳 (株式会社STNet セキュリティサービス部)

2024年11月14日(木)、29歳以下の女性を対象とした国際CTF「Kunoichi Cyber Game」が開催されました。

本イベントでは日・米・英・欧州の4チームが参加しており、CTF前後では様々な交流の機会も設けられました。

日本チームのメンバーとして参加しましたので、競技や交流イベントの内容を紹介します。

15:45 講演⑥『特殊詐欺体験アプリを用いた初年次教育の実践例の紹介』

後藤田 中 (香川大学サイバーセキュリティセンター センター長)

近年、特殊詐欺の被害が深刻化し、若年層にも拡大している。香川県でも被害が急増し、警察官を騙る巧妙な手口が目立つ。本研究では香川県警と香川大学が連携し、LINE上で詐欺手口を疑似体験できる特殊詐欺アプリを開発した。サイバーセキュリティセンターの活動紹介と香川大学での初年次教育での実践等について報告する。

16:15 休憩

16:25 講演⑦『フィッシング詐欺の最前線と対策 ～JC3の取り組みと学生参加型プロジェクトの紹介～』

八子 浩之 (JC3金融犯罪対策グループ主査 (株)みずほ銀行)

河田 芳希 (JC3金融犯罪対策グループ副主査 トレンドマイクロ(株))

久保田 亜紀子 (JC3会員)

巧妙化が進むフィッシング詐欺は、個人や企業に深刻な被害をもたらしています。一般財団法人JC3(日本サイバー犯罪対策センター)は、実在するフィッシングサイトの報告を通じて被害の未然防止を目指す「フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ・チャレンジマラソン」を実施しています。本発表では、JC3の取り組みに加え、近年のフィッシング詐欺の動向とその対策について紹介します。

16:40 講演⑧『セキュリティ・キャンプ紹介』

齋藤 徳秀 (一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会 地域連携グループ)

IT化・DXが進んでいる昨今、社会を取り巻く脅威は多くの企業や業態において身近なものとなっています。そのような中で、社会的な課題として、情報セキュリティ人材の不足や情報セキュリティに関する知識の普及が急務となっています。本講演では、セキュリティ・キャンプ協議会が実施している、人材育成事業がこれら社会的課題に対してどのような効果をもたらすかについて、紹介していきます。

16:55 閉会挨拶

竹原 一駿 (香川大学サイバーセキュリティセンター 副センター長)